

海外紹介

世界の鍼灸コミュニケーション(21)

米国で鍼師が使う治療方法についての考察
- 東洋医学は自然医学の中で発展していく -

ダニエル・ケナー

オルメド研究所

要旨

鍼術東洋医学国家資格認定委員会(NCCAOM)の最近の調査によると、米国の資格認定鍼師は、その日常臨床において様々な手法を取り入れることにより、治療の幅を広げてきている。これらの手法は、東洋医学の教育機関では教えられておらず、また鍼術発祥の地である東アジア由来ではないが、実際の東洋医学臨床では非常に重要で有用だと考えられる。

この調査は、米国で東洋医学のそのものが、全く新しい文化的環境に同化するかのようになり、いかに変貌し発展しているかを示す誠に重要な資料である。

キーワード：東洋医学、鍼、資格認定鍼師、職業分析調査、自然医学

はじめに

東洋医学は世界中で盛んになっている。東洋医学は本来東洋の文化で生じたが、近年全世界に広まるにつれて、いろいろな新しい考えと治療方法に影響を受けているようだ。米国は全世界のいわゆる「坩堝」(melting pot)といわれるが、米国の鍼師(acupuncturist)はさまざまな自然医学の方法を取り入れ、東洋医学を利用している。鍼師の中には、物理療法(physical therapy)の専門家、植物療法(botanical therapy)の専門家、ホメオパシー(同種療法)医師(homeopaths)、按摩のような技術を使用する指圧療法家(practitioners of palm healing and shiatsu)など併せもっている者もいる。植物療法の中には、東洋医学の中医学(Chinese medicine)や漢方薬(Kampo)、さらにハーブ(herbs)、栄養補助食品(nutritional supplements)、アロマセラピー(aromatherapy)のエッ

センシャル・オイル(揮発性植物油)、花のエッセンス(flower essences)などが分類される。いわゆるハーブとエッセンシャル・オイル等ほどのように東洋医学的に分類されるか難しいところだが、アメリカでは東洋医学の考え方は変化している。東洋医学の中に標準的な考え方はないのである。米国では、新しい国際的な流派がさまざまな形で生じていく可能性がある。

1. 米国での鍼師の実態調査

鍼術東洋医学国家資格認定委員会(National Certification Commission of Acupuncture and Oriental Medicine: NCCAOM)は、米国で認定を受けた鍼師に対する鍼術東洋医学専門家職業分析(Job Analysis of the Acupuncture and Oriental Medicine Profession)と題したアンケート調査の結果を発表した¹⁾。

鍼術 (acupuncture) と東洋医学の区別を、その委員会は中医学に基づく薬品処方と鍼術理論によって分類している。この調査の目的は、鍼師の職業としての将来を計画するためのものである。3,500通のアンケートを発送して回収率は36.1%であった。この程度の調査の回収率は平均約18%なので、この調査は妥当性のある分析がおこなえたと思われる。回答された鍼師の96%は、現在開業中の治療家であった。64%は女性で、67%は白人だった。回答者の82%は、東洋医学をアメリカで勉強していた。回答者の13%は、アメリカ以外で勉強して、残りの5%は見習い弟子 (apprentice) として訓練されていた。49%は、1週間に治療した患者人数が11から30人であった。

アンケートの質問の一つに、「鍼術と東洋医学において、必ずおこなうべき処置と思われるものを選んで下さい」という項目があった。284種類の処置方法が挙げられ、例えば鍼術、中医薬品処方 (Chinese herbal medicine)、西洋医学 (Western medicine)、西洋医学診断 (Western diagnosis) などが列記され、複数回答を可能とした。284の処置方法の中で第一位に選ばれたものは、「主訴の問診と二次的症狀の問診」であった。鍼術は99%以上の回答者が選んだ。中医薬品処方は93%、生活カウンセリング (lifestyle counseling) は72%、中医食事療法 (Chinese dietary therapy) は70%、東洋物理療法 (Asian bodywork) は69%、気功運動 (Qi gong exercises) は59%、気功治療 (therapeutic qi gong) は45%、栄養補助食品処方 (nutritional supplements) は41%、西洋医学診断法 (biomedical assessment) は21%、ホメオパシー (homeopathy) は13%、西洋医学治療 (biomedical treatment) は11%、の回答者が選んでいた。

2. 法制度下での米国鍼師

米国で鍼師の数が一番多い場所は、カリフォルニア州である。法律上では鍼師は医学の開業者として分類されていない。西洋医学以外の治療家は、「同盟ヘルスケア専門家」(Allied Health Care Professional) として分類されている。よって法律では、東洋医学は本当の (genuine) 医学ではないのだ。鍼師が法的に行なえる治療方法の現状は定

義されていないが、法的な見解はカリフォルニア州政府によって発表されている (Scope of Practice - Legal Opinion No. 93-11⁹⁾)。この法的見解は参考資料として作成され、他の意味はない。

収載された治療方法は、鍼術、電気鍼術 (electroacupuncture)、灸 (moxibustion)、吸角法 (cupping)、指圧 (Shiatsu)、マッサージ (massage)、呼吸療法 (respiratory therapy)、運動 (exercise)、栄養治療 (nutrition)、処方薬ではない物質 (drugless substances)、植物性物質 (botanical substances)、ホメオパシー、ハーブ (herbal medicines)、診断 (diagnosis)、血液検査注文 (order blood tests)、レントゲン注文 (order X-Rays)、新しい治療器 (new medical therapeutic devices)、新しい診断器 (new medical diagnostic devices)、レーザー (lasers)、磁石 (magnets)、超音波で経穴を刺激する (ultrasonic acupuncture)、渦流浴 (whirlpool bath)、水治療法 (hydrotherapy)、温度療法 (thermal therapy: 熱も冷も)、伝統自然医学流派 (naturopathy) などである。

これらの治療方法の中には、色々な制限がある。法律で一定の許可を得た鍼師が使用する治療方法は、鍼術と同時に鍼術業務に関連した東洋マッサージ (massage)、指圧、呼吸療法、運動、栄養療法 (nutritional therapy) も含まれている。鍼術の定義では、電気鍼もお灸も吸角療法も入る。その鍼術の定義以外のものでは、いわゆる電気皮膚診断 (electrodermal screening) がある。これは EAV (Electroacupuncture According to Voll) と呼ばれ、ドイツで発達したもので、皮膚電気 (Galvanic Skin Response: GSR) を測定して身体のエネルギー場を分析する原理によって、診断する方法である。鍼師は血液検査もレントゲン線の検査も注文することができる。鍼師は診断することができるが、許される治療は制限されている。内科のような治療では、飲み薬は医師だけしか処方できない規則がある。

3. 矛盾を含む実態

処方薬ではない物質や植物性物質については、矛盾したところがあり議論になることが多々ある。鍼師は処方薬ではない物質や植物性物質、栄養補

助食品を健康増進の為に推奨 (recommend) することはできるが、同じ物質を病気治療のために推奨することはできない。病気を治療することは医学だからである。鍼師は病気を診断してもよいが、治療は鍼術や東洋的物理療法の治療しかできない。

一定の物質は医薬品だが、処方薬ではない物質とどのような違いがあるのだろうか。同じような例としてビタミン剤は栄養を改良するためであれば栄養補助食品だが、むしろ同じビタミン剤でも病気を改善するためと考えれば医学治療になる。つまりその区別は治療家の意思によるわけだ。

ホメオパシーの場合にもまた面白い矛盾がある。法律的にホメオパシーの目的はもともとに病気を治すためなので、医学の種類として分類されている。ホメオパシーで使われる医薬品は希釈によってほとんど物質はなくても、定義的に医薬品である。ホメオパシーの薬品は健康食品の店でだれでも買えるが、鍼師が治療目的でこのような医薬品を使うことは認可されていない。西洋的な自然医学手法の中でホメオパシーという「エネルギー医学」(energy medicine) は、東洋医学の伝統的な気の考え方に一番近い理論であると思うので残念なことである。

植物性物質は、薬品としても栄養補助食品としても考えられる。英語で一番使われた言葉は“herbal medicine”(植物性医学)であるが、病気治療あるいは症状改善のためであれば薬品と考えられる。輸入した漢方薬、例えば小青竜湯は、法律的には栄養補助食品だが、アレルギー性鼻炎を小青竜湯で治療したら薬品になる。この矛盾は、鍼師が3年間中医学を勉強し、中医学の教科課程である植物性中薬の臨床的な使い方を学ぶことによる。

新しい機器というものには、新しい治療器や新しい診断器があり、これらは通常、食品医薬品局 (Food and Drug Administration: FDA) の管理下にある。もし安全なもので効果的なものと考えられれば、鍼師も使うことができる。よく使われる機器はレーザー治療器 (therapeutic laser)、電気刺激機器 (electrotherapy device)、超音波機器 (therapeutic ultrasound device)、磁石が使われて

いるマグレバン (magnetic pellet) などがある。制限された機器には、磁気治療器 (electromagnetic healing device) という治療機器がある。このような機器は全ての病気を治療できると考えられている。先に述べたEAVや新しタイプのエネルギー場で診断するVEGA (ドイツ語で“vegetative reflex”という意味) 機器も制限されている。イオンポンピングコード (間中先生の ion pumping cords) が、使われないのは不思議だ。

4. 自然医学の台頭

伝統自然医学流派 (naturopathy あるいは naturopathic medicine) は2003年に免許の必要な職業になり、新しい法律上の定義ができたようだが、鍼師との関連性についていえば、すでに1993年の法律見解によって鍼師が「自然医学」(naturopathic) の治療技術を使うことができている。この「naturopathyの技術」(naturopathic methods) の中では健康を改善するために光 (light) や空気 (air)、水 (water)、熱気 (heat)、土 (earth)、安静 (rest)、食事療法 (diet)、植物 (herbs)、電気 (electricity)、マッサージ (massage)、磁場 (magnetism)、栄養補助食品 (nutritional supplements) を推薦するが、薬品 (劇薬) は推奨しない。また、外科医の中には、身体組織に関与することなく、自然医学を信奉するものもいる。

5. 東洋医学と自然医学

東洋医学それ自体は多様なものである。歴史的に、文化的に、地理学的に、種類が多いからである。さらに、技術 (techniques) や薬品の種類 (types of medications)、疾病分類学 (nosologies)、診断 (methods of examination)、診断と説明 (diagnostic interpretations) などと範囲が非常に広いのである。

カリフォルニアではさまざまなグループがある。たとえば中国人、韓国人や日本人、アメリカで勉強した白人や二世などでは、考え方も治療方法も異なり種々たくさんの流派が存在する。

近年これらの東洋医学は、職業として中医学理論が標準になっている。カリフォルニア州鍼師資

格試験に合格すると、中医学理論と中国の植物性薬品 (Chinese herbal medicine) を一所懸命に勉強しなければならない。免許を取得してからも、若い鍼師は色々なことを習わなければならない。無数の自然医学の技術と考え方がある。現在アメリカで東洋医学は、アメリカの伝統医学の中で一番強い影響力を持っている。西洋医学といえば、どういう意味かと問えば、副作用が強い人工的な毒性のある薬品と考えられる。その理論は分析的である。しかし、神妙なホメオパシーも西洋医学である。

おわりに

医学を東洋と西洋で分けることに、意味があるのかと問わなければならない。医療人類学では西洋と東洋の分類は意味があるのかも知れないが、臨床の中で患者に治療する時には大事なことは、これとは違うところにあるように思う。つまり、

治療方法は毒性であるのか、副作用があるのか、病理の考え方は症状に対して分析的な考え方であるのか、あるいは統一的な考え方であるのか、というようなことが一番大事なことである。

将来には東洋医学は、アメリカと欧州で西洋の伝統的な自然医学と融合して、新しい総合的な「世界医学」を生ずるかも知れない。その時までには東洋医学も西洋の自然医学も種類が広がって徐々に結合していくのだろう。

謝 辞

本原稿作成にあたって協力を得た、全日本鍼灸学会国際部委員堀口和彦氏に謝意を表す。

文 献

- 1) Job Analysis of Acupuncture and Oriental Medicine 2003 [<http://www.nccaom.org>]
- 2) Scope of Practice - Legal Opinion No. 93-11 [<http://www.acupuncture.ca.gov>]

Foreign Introduction

Global Communication (21)

Examination of Treatment Methods Used by Acupuncturists in America

Daniel C. Kenner

Abstract

A recent survey of licensed acupuncturists in the United States conducted by the National Certification Commission of Acupuncture and Oriental Medicine (NCCAOM) revealed the breadth and variety of methods used by acupuncturists in their clinical practice. Many of these are techniques that are not taught in schools of Oriental Medicine and do not originate in east Asia, but are considered by the practitioners to be significant to their practice of oriental medicine. The survey affords an opportunity to observe how the nature of oriental medicine is changing and evolving as it is assimilated into a new cultural environment.

Zen Nippon Shinkyu Gakkai Zasshi (Journal of the Japan Society of Acupuncture and Moxibustion, JSAM).2004; 54(1): 102-105

Key words: oriental medicine, acupuncture, licensed acupuncturists, job analysis survey, naturopathy